

臨床研究「データコラボレーション技術を用いた腎疾患・高尿酸血症に関する多施設共同レセプト複合データベースの形成」について

筑波大学附属病院腎臓内科では、標題の多施設共同臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

この研究は、当院を含む対象医療機関へ通院中の患者さんの診療データおよびレセプトデータを対象とし、高尿酸血症を有する患者さんのデータベースを作成して、尿酸の数値と腎臓のはたらきや心臓病の発症などの関連を調べるものです。

② 研究対象者

対象者は、2013年1月から2020年12月までの間に当院で診療を受けられ、この期間に血清尿酸値と血清クレアチニン値を測定され、かつ血清尿酸値が高値であったことがあるか、または尿酸降下薬を服用したことがあるか、または痛風や高尿酸血症を発症したかのいずれかに当てはまることがレセプトデータから推測され、なおかつ初めて血清尿酸値を測定された時点では腎代替療法（血液透析、腹膜透析、腎移植）は受けておらず成人済であった患者さんです。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月31日まで

④ 対象医療機関

■代表機関

① 筑波大学附属病院（研究責任者：山縣 邦弘）

■共同研究機関

② （株）日立製作所日立総合病院（機関責任者：渡辺 泰徳）

⑤ 研究の方法

②で対象となった患者さんのデータを抽出し、その特徴をコンピュータ解析で検討します。過去の電子カルテシステムデータおよびレセプトデータのみを対象とし、患者さんに対する面談や試料採取などは行いません。レセプトデータは患者さんが受けられた医科診療行為、医薬品、特定器材、傷病名を示すコードです。データはすべて個人情報や個人の特定につながる情報を除去されたうえで、さらに実際の個々の患者さんの診療内容へと復元できない方法で変換処理を受け、筑波大学内のセキュリティが確保されたコンピュータ内に保存されます。このデータを本研究以外の目的で使用することはありません。また患者様に本研究を目的として診療において新たな負担をお願いすることは一切ありません。

⑥ 試料・情報の項目

レセプト情報、電子カルテデータ（採血、採尿など検体検査の結果や、薬剤の処方内容を含む）

⑦ 試料・情報の第三者への提供について

筑波大学外の機関へ情報や試料を提供することはありません。

⑧ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学医学医療系 山縣 邦弘

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

腎臓内科 担当：角田 亮也

電話 029-853-3202（腎臓内科医局） 平日 9～17 時